

様式第5号

出張調査報告書

平成25年 2月20日

松伏町議会議長 渡辺 忠夫 様

会 派 名 新自民クラブ

代表者氏名 山崎善弘



下記のとおり、先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成25年 2月18日から平成25年 2月19日
2 視察地	(1) 岐阜県各務原市 (2) 岐阜県恵那市 (3)
3 視察目的	「音楽のまちづくり事業」について 「都市農村交流事業」について 「里地棚田保全事業」について
4 視察者氏名	山崎善弘、莊子敏一、渡辺忠夫、松岡高志
5 視察結果	行程・視察結果は別紙のとおり

平成 25 年 2 月 20 日

松伏町議会議長 渡辺忠夫 様

新自民クラブ 会長  
山崎善弘

## 政務調査結果報告書

「音楽のまちづくり事業」「都市農村交流事業」「里地棚田保全事業」の調査が終了しましたので、下記の通り報告いたします。

### 記

#### 1. 調査年月日

平成 25 年 2 月 18 日～19 日

#### 2. 視察地および調査件名

- ① 岐阜県各務原市 「音楽のまちづくり事業」
- ② 岐阜県恵那市 「都市農村交流事業」「里地棚田保全事業」

#### 3. 調査の経過

- ①「音楽によるまちづくり事業」の調査のため、各務原市当局から説明を受け、意見を聴取しました。
- ②「都市農村交流事業」及び「里地棚田保全事業」の調査のため、恵那市当局及びNPO法人恵那市坂折棚田保存会より説明を受け、意見を聴取しました。

#### 4-1. 調査の結果

岐阜県各務原市「音楽によるまちづくり事業」

##### (1) 視察地の概要

岐阜県各務原市は、岐阜県の南部、濃尾平野の北部に位置し、総面積は 87.77 平方キロメートルです。

南部には東西に木曾川が流れ、愛知県との県境になっており、犬山市・江南市・丹波郡扶桑町・岐南町、一宮市に接しています。

各務原市は人口約 15 万人で、平成 16 年に羽島群川島帳と合併し現在の各務原市となっている。市内に 16 か所駅があります。

##### (2) 音楽のまちづくり事業について

各務原市内には、音楽関係のクラブ・サークルが 100 団体以上もあり、市内全域で活動しています。平成 21 年度から市が推進している「音楽の街・各務原」では、さらに音楽にあふれた魅力的なまちづくりを進めるため「育てる」・「魅せる」・「参加する」の 3 つの視点で、さまざまな事業を行っています。

## ♪未来の音楽家を「育てる」

各務原市では昭和36年に始まった市内全小中学校での合唱活動の伝統や、8項の中学校すべてに吹奏楽部があるなど、盛んな音楽活動が生まれる土壌を持っています。

## ♪各務野吹奏楽アカデミー

平成20年度から行っている「各務野吹奏楽アカデミー」は、市内中学校の吹奏楽部員を対象に、大学教授やプロの演奏家から直接吹奏楽のレッスンを受けることができる事業です。新入生を対象に、基本的な知識を学ぶ入門編から始まり、2・3年生対象の上級編や、表現力向上を目的とした合奏編など、1年間を通じて吹奏が宇のステップアップができる機会を提供しています。

## ♪音楽への愛と才能を育む環境づくり

さらに、楽器のレッスンだけでなく、音楽を愛する心を育むためのコンサート鑑賞や、練習の成果を四郎する場として、市内公共施設やショッピングセンターなどでのミニコンサートや、プロの演奏者とのジョイントコンサートなどを開催し、未来の音楽家の育成へとつなげていく事業となっています。

この「各務野吹奏楽アカデミー」以外にも、数々の音楽家を育成した一流の指導者による「ピアノ教室」や、音楽家を目指す市在住・出身の若手アーティストに活動の場を提供する「ヤングワンコインコンサート」など、明日の音楽文化人が育つ環境づくりにつとめています。

## ♪上質なコンサートを「魅せる」

未来の音楽家の育成に加え、誰もが気軽に音楽に触れることができるよう、さまざまなコンサートや音楽イベントを開催しています。

## ♪多彩なジャンル・ターゲット

国の文化財である歌舞伎舞台「村国座」を会場に、若者向けのクラブ音楽を楽しむイベント「村国ライブ」や、毎年一流のアーティストを招いて開催する「木曾川音楽祭」など、多彩なコンサートを開催しております。

また、大規模なコンサート以外にも、気軽に参加できる音楽コンサートを定期的に開催しています。世界的な建築家、伊藤豊雄氏が手掛けた市営斎場での「瞑想の森コンサート」や市民会館のロビーを利用した「ホワイエコンサート」、500円で鑑賞できる「ワンコインコンサート」など、カジュアルに楽しめるコンサートが市民に親しまれ、市の音楽文化の向上につながっています。

## ♪誰もがコンサートを楽しめる街

特に、ホワイエコンサートなどでは、未就学の子どもでもコンサートに参加でき、なかなかコンサートに行くことができない子育て中の方も、子どもと一緒に音楽を楽しむことができるなど、誰もが音楽を満喫できる機会を提供しています。

♪誰もが気軽に「参加する」

音楽を聴いて楽しむだけでなく、市内の誰もが積極的に参加し、演奏を楽しめる環境づくりを行っております。

音楽ウィーク・街角コンサート

平成15年より毎年秋に開催している「音楽ウィーク・街角コンサート」では、市内で活動する音楽グループが1週間にわたってコンサートを行っております。市の公共施設や病院、ショッピングセンターなど市内全域で開催され、音楽の楽しさを伝える、出演者による手作りのコンサートとして、親しまれています。

♪市民の音楽活動をバックアップ

また、音楽の未経験者についても、音楽活動を始めのきっかけとなるよう、平成21年度から体験型の音楽イベント「楽器体験フェア」を開催しております。トランペットやホルン、ドラムやチェロなど、普段あまり触れる機会のない楽器の演奏を気軽に体験でき、演奏のお手音となるミニコンサートも行われるイベントです。

こうした事業の充実により、誰もが気軽に音楽を奏で、親しむことができる舞台を充実させています。

#### 5-1. 課題

松伏町でも音楽によるまちづくり事業としてさまざまな鑑賞型コンサート事業や参加型コンサート事業が毎年開催されています。しかし、その事業の主催はエローラ運営委員会が殆ど担っており、予算も約600万円と限界があります。

この点各務原市では、「音楽の街・各務原」の事業を行っている主催者は、産業文化部観光文化課、産業文化部ライフデザイン課、教育委員会学校教育課が共働しながらそれぞれ事業を行っています。さらに、各務原文化協会文化活動をおこなっている個人や団体への支援が目的となっており、その会員は企業など利益団体を中心となっているので、松伏町の文化協会とは内容が異なっていました。

#### 6-1. 考察

松伏町では、専門的な音楽を学んだ優秀な音楽家や音楽家のタマゴのような貴重な人材が増えています。その方々が積極的に町民とふれあい音楽を広めていく音楽文化が創造できれば、単なる鑑賞会や発表会だけではなく、「まちおこし」として「音楽にまちづくり」を推進できると考えます。そのためには、文化振興課のエローラ運営委員会だけで「音楽によるまちづくり」を推進するのではなく、教育総務課、企画財政化、環境経済課とも協力して、「松伏町の音楽によるまちづくり」を推進すべきだと考えます。

## 4-2. 調査の結果

### 岐阜県恵那市「都市農村交流事業」「里地棚田保全事業」

#### (1) 視察地の概要

岐阜県伊那市は、岐阜県の南東に位置し、東は中津川市、長野県（平谷村、根羽村）、西は瑞浪市、南は愛知県豊田市、北は八百津町、白川町に接しています。

市北部には笠置山、南東部には焼山をはじめとして、標高 800m～1200m前後の山々が連なり、市街地の北部を木曾川が、また南端を矢作川が流れ、美しい山や川に囲まれています。

人口約 5 万 3 千人で面積 50 万 4 千 $\text{km}^2$ の市です。

#### (2) 「都市農村交流事業」、「里地棚田保全事業」について

恵那市でも、基幹産業である農業の後継者不足や耕作放棄地の拡大が深刻な問題となっています。農業後継者を新たに育成するため営農組合組織等の設立を推進し、地域全体で農業・農地を守る取り組みをしております。また、都市農村交流事業として坂折棚田オーナー事業を行っています。先祖が知恵と汗で長年かけて気づきあげた、石積みの美しい『坂折棚田』でも、担い手不足があり、農地が荒れてしまう傾向があります。そこで稲作りを体験していただいて棚田の保全と都市の方々との交流ができる事業としてはじめた。

1 区画約 100  $\text{m}^2$ で募集組数は 50 組、基本料金 35000 円/年です。

素晴らしい景観の中で農業体験ができ、明日へのエネルギー源となり、清々しい気分になると参加者からも好評で、文化的景観を後世に残すためにも有益であります。

## 5-2 課題

松伏町でも、基幹産業である農業の後継者不足や耕作放棄地の拡大が問題であると認識しています。松伏町は平坦地で棚田そのものが参考になるわけではありませんが、普段からなにげなく見ていた棚田に観光の目的になるような内容があったことに気付くことが大切だということがわかりました。農業や農地を守る取り組みとして大変参考になりました。

## 6-2 考察

松伏町の観光資源がこれといって特筆できないような状況ではありますが、普段なにげなく見ているわが町にも、恵那市の「里地棚田保全事業」と同様な見方をすればきっと何かが見つかるのではないかと考える。住民の協力をいただきながら、今後松伏町の観光資源の創造と松伏町の農業振興を研究していく。

視察行程

日	行 程
2 月 18 日	<p>東武スカイツリー線 JR新幹線 名鉄</p> <p>越谷駅 ●—● 東京駅 ●—● 各務原市役所前駅 ●—● 各務原市役所</p> <p>8:20 9:20 12:00 13:20</p> <p>JR 名鉄</p> <p>研修 各務原市役場 ●—● 恵那駅 ●—● ホテル</p> <p>13:20 15:50 17:55</p>
2 月 19 日	<p>市役所公用車</p> <p>ホテル出発 ●—● NPO法人 研修 ●—● 農村景観日本一</p> <p>9:10 9:20 11:30 視察</p> <p>JR 新幹線 東武スカイツリー線</p> <p>恵那駅 ●—● 名古屋駅 ●—● 東京駅 ●—● 越谷駅</p> <p>13:49 14:53 16:33 17:28</p>